

予算要求資料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

事業名 スポーツ運動好きな幼児育成プログラム展開事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

清流の国推進部 地域スポーツ 地域・バラスポーツ振興係 電話番号：058-272-1111(内2623)

E-mail：c11172@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 6,000 千円 (前年度予算額： 7,000 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金負担金	使用料手数料	財産収入	寄附金	その他	県債	一般財源
前年度	7,000	7,000	0	0	0	0	0	0	0
要求額	6,000	6,000	0	0	0	0	0	0	0
決定額	6,000	6,000	0	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

本県の成人のスポーツ実施率は33.8%(R2)と、全国(59.9%)と比較して低調である。また、国の「体力・運動能力調査」では、小学生までの運動習慣づくりは、体力向上はもとより、成人以降のスポーツ習慣や高齢期以降の健康の保持にも大きな影響を及ぼすとの結果がでている。

そこで、幼児期に楽しみながら体を動かすプログラムを全県展開することで、運動好きな子どもを育成し、生涯スポーツの基礎をつくる。

(2) 事業内容

①プログラムのモデル実施

県内5市において、モデルとなる幼稚園・保育所等を14か所指定。県内大学と連携し、モデル園の教員・保育士に対してアクティブチャイルドプログラム(ACP。日本スポーツ協会開発)の実技指導を行う。幼児への運動能力測定や教諭・保護者への調査でその効果検証を行うとともに、県内全園への普及・定着の仕組みを構築する。

②定期検討会の開催

モデル実施に参加する大学教員らによる検討会を年2回開催する。

(3) 県負担・補助率の考え方

スポーツ・運動好きな幼児を育成するプログラムの全県展開により、県全体のスポーツによる健康・生きがいづくりを推進するために不可欠な事業である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	5,702	推進園でのモデル実施・定期検討会開催委託
旅費	259	取組視察等の旅費
報償費	14	
消耗品費	25	消耗品費等
合計	6,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第2期清流の国ぎふスポーツ推進計画

(2) 国・他県の状況

- ・幼児期からの運動習慣形成プロジェクト スポーツ庁 (R5)
- ・他県：東海4県で同様の未就学児に対する運動促進施策の実施なし

(3) 後年度の財政負担

- ・R7、R8はモデル実施結果を活かした全県普及

(4) 事業主体及びその妥当性

・県内スポーツ推進の中心的役割を担い、県民にスポーツ機会を提供する事業を行っており、また日本スポーツ協会から委託を受けて小学生向けのACP教室を開催している公益財団法人岐阜県スポーツ協会へ委託する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県内5市14の幼稚園・保育所等でACPをR6まで継続して実践し、運動能力測定結果や教員・保護者等への調査結果で成果を出す。それをもってR8までに全県への普及を行い県内全幼稚園・保育所、将来的には県全体のスポーツ実施や競技力の底上げに寄与する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①運動能力測定で (年長児)小学1年 生の平均値以上の モデル園	-	14園	14園	14園	14園 ※R6まで	100%
②ACPを実践する 県内幼稚園・保 育所等の割合	18% ※認知度	6% 推進園+土岐市 園	50%	100%	100%	-

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	指標① 目標： 実績： 達成率：
令和 3 年度	指標① 目標： 実績： 達成率：

令和4年度	県内5市（各圏域1市ずつ）で、各2～3園を推進園として指定し、スポーツ運動好きの幼児育成プログラム展開事業実施した。効果検証を行ったところ、対象児（年少）の体力は大幅に向上した。取組の様子をまとめた動画、検証結果を踏まえたリーフレットを作成し、推進園保護者、県内各市町村教育委員会、保育課等を通して、県内全園に配布し、ACPを活用した運動遊びの普及に取り組んでいる。
	指標① 目標： <u>14</u> 実績： <u>14</u> 達成率： <u>100</u> %

2 事業の評価と課題

（事業の評価）

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
（評価） 3	県内の子どもの体力は、新型コロナの影響もあり、低下傾向にあり、対策が求められている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
（評価） 2	事業を実施することで、子どもの体力テストの数値が向上した。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
（評価）	

（今後の課題）

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 各推進園での取組を県内全域へ普及するために効果的な普及方法を検討する必要がある。

（次年度の方向性）

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか モデル実施により、効果的な実施方法や幼稚園・保育所等のニーズを把握し、県内全園への普及・定着の仕組みを構築していく。
--

（他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果）

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	